

図画工作

I 教科、種目の観点

資料作成に当たっては、共通観点の他に、学習指導要領(平成29年3月)に示された各教科の目標や内容等に即して検討し、教科独自の観点を定めた。

1 教育基本法の理念や第三期長崎県教育振興基本計画の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長	
共通 観点	(1) 教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成、「本県教育が目指す人間像」の育成に資する内容、構成となっているか。
	(2) ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自然について理解を深める学習に生かせる題材が扱われているか。
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長	
共通 観点	(1) 基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得されるよう工夫されているか。
	(2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されているか。
	(3) 主体的に学習に取り組む態度が身に付くよう工夫されているか。
教科 独自 観点	(4) 自然物や材料やその形や色などに働きかける造形遊びをする活動においては、児童が発想や構想を繰り返す中で造形活動の経験や技能などを発揮することができるよう工夫されているか。
	(5) 絵や立体、工作に表す活動においては、形や色、イメージなどを手掛かりに、材料や用具を使ったり、表現したりできるよう工夫されているか。
	(6) 作品などを鑑賞する活動は、形や色、イメージなどを基に、主体的によさや美しさなどを感じ取ったり、自分なりの意味や価値をつくりだしたりできるよう工夫されているか。
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ(ユニバーサルデザイン)等の観点からの表記・表現や体裁の特長	
共通 観点	(1) 文章は、分かりやすく、質・量ともに豊かな記述内容となっているか。
	(2) 写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。
	(3) レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用、紙質、製本等については、適切に配慮されているか。

II 選定資料利用上の留意点

- 1 資料の作成に当たっては、設定した観点ごとに、特に目立った事柄を取り上げる。
- 2 利用に際しては、全体を通して総合的に判断し、各教科書の特色をとらえるとともに、地域の実態、その他の条件を考慮して、適正な採択のための資料とすること。
- 3 前記の観点と次表の観点、具体項目とは、対応させて読み取ること。

Ⅲ 具体項目

図画工作

観点	発行者	開隆堂	日 文
<p>1 図画基本法の理念や第三期長崎県教育振興基本計画の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を</p>	<p>(1) 教科の特質に応じて、「教育の目的」「及び」「教育の資目」の達成、構成となっているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・美しい造形に触れる表現と鑑賞の学習全体を通して、豊かな情操と道徳心を培うとともに、「学びの資料」と連携することで、幅広い生きた知識と教養を身に付けることができるよう配慮されている。 ・教科書の巻頭に、職業及び生活との関連を重視して多様な人々が造形にかかわっている姿を取り上げることで、創造性を培うことの大切さが伝わるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図画工作科の目標を共有する、オリエンテーションページを設けることで、一人一人の価値を尊重し、その能力を伸ばし創造性を培うことができるよう配慮されている。 ・諸外国の児童の作品や作家の作品などを取り上げ、それぞれの国による表現方法や風土の違い、共通点を理解し学ぶことで、国際理解の大切さや平和の発展に寄与することができるよう配慮されている。
	<p>(2) ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自然について理解を深める学習に生かせる題材が扱われているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自然豊かな場所で造形活動を行ったり、自然の事物をモチーフとした表現活動を行ったりすることで、身近な自然のよさを感じ取ることができるよう配慮されている。 ・「みんなのギャラリー」で日本の各地域の特性を生かした造形活動や造形作品を掲載することで、地域の身近な素材や伝統に興味・関心をもてるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「広がる図工」で長崎県の「平和の祈りキッズゲルニカ in ながさき」が紹介されており、ふるさと長崎の平和について理解を深めることができるよう配慮されている。 ・「土のライブラリー」で長崎県の五島・平戸・対馬の土が紹介されており、ふるさと長崎の自然について興味・関心をもてるよう配慮されている。

Ⅲ 具体項目

観点	発行者	開隆堂	日 文
<p>2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長</p>	<p>(1) 基礎的・基本的な知識・技能が確かなか。習得されるよう工夫・技能が確かなか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 複数の題材を通して、継続的に水彩絵の具の基本的な扱い方や技法を身に付けたり、具体的な作品事例から、様々な構成の特徴に気付いたりすることで、自分に合った表現方法を試すことができるよう工夫されている。 安全面を含めて用具の取り扱いに慣れる必要があるものについて、複数の学年や題材で取り上げることで、表現方法に応じて適切に選択し、活用することができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 水彩絵の具の使い方や技法について、低学年の共用の絵の具を使った活動から高学年の創造的な活用方法に至るまで系統的に学ぶことで、発達段階に応じた知識を身に付けられるよう工夫されている。 「思い出そう」や巻末に図や写真を使って既習事項を示す内容を掲載することで、これまでの学びを振り返るとともに用具の使い方などの知識・技能を定着することができるよう工夫されている。
	<p>(2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 活動内容をイメージできるような題材名を提示することで、見通しをもって造形活動に取り組み、表現を広げたり深めたりすることができるよう工夫されている。 鑑賞活動と造形活動を続けて題材として配置することで、他者の作品や美術文化を実感的に理解し、自分の表現に生かすことができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 全巻を通して、題材名の下に学習のめあて・学習の視点を併記することで、全学年とも同じ流れで学習活動に臨むことができよう工夫されている。 プログラミングやプロジェクションマッピングなどの新しい表現方法を例示することで、多様な表現の仕方に触れられるよう工夫されている。
	<p>(3) 主体的に学習に取り組む態度が身に付くよう工夫されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「あわせて学ぼう」として本題材と関連する教科名と具体的な活動を示すことで、図画工作科としての学びを様々な場面で生かしていくことができるよう工夫されている。 3つの資質・能力に沿った学びのめあてをキャラクターを用いて視覚的にとらえやすくすることで、目的をもって学習に取り組むことができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各巻に付けられているタイトル名について、巻頭見開きのページで詳しく解説することで、これから学ぶ内容について見通しをもたせるとともに、学習意欲を喚起するよう工夫されている。 各下巻末に2年間で学んだことを振り返るページを掲載するとともに、「1・2上」の巻頭及び「5・6下」の巻末に、それぞれ幼児期からの学びと中学校への学びの連続性を意識させることで、これからの学習へ向かう意欲を高めるよう工夫されている。

Ⅲ 具体項目

観点	発行者	開隆堂	日 文
<p>2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長</p>	<p>(4) 中では自然物や児童の生活活動の発想や構想を活動の中心として取り返す働きをいかに発揮させるか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生活の中にある様々な素材を使って遊ぶことができるように配慮することで、素材の特性に幅広く気付くことができるよう工夫されている。 自然材料や人工材料など、「材料」をもとにした活動と、材料の「造形的な操作や行為」をもとにした活動の2つに整理し、それぞれを全学年に配置することで、学びの積み重ねが図られるとともに、特に低学年での丁寧な指導の充実につながるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近にある素材について、様々な学年で繰り返し扱う部分を設けることで、様々な角度から工夫を重ねることのできる構成になっており、6年間を通して素材への実感的理解や、学びを深める構成になるよう工夫されている。 「造形遊び」における視点を「場所から」「材料から」「行為から」の3つに整理し、低・中・高学年でそれぞれに重点的に扱う視点を整理することで、発達段階に沿った学びの系統性になるよう工夫されている。
	<p>(5) 絵や立体、工作に表す活動において、手掛かりに、形や色、材料や用具などを用いて工夫されている表現。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学びを深める3つのキャラクターが、発想・構想を促す投げかけや、気付きを促すヒントを示すことで、活動のポイントが明確になり、主体的に試行錯誤していけるよう工夫されている。 巻末の「学びの資料」だけではなく、各題材において、材料や用具をどのように使えばよいか、つくり方や使い方の説明を整理して示すことで、自己の表現に生かすことができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 発想や構想のヒントとなるコーナー「図工のみかた」「シンキングツール」「つくり方のヒント」「図工ノート」などを設けることで、表し方を整理したり、思い浮かんだ様子や自分の考えを可視化したりするなどして、表現のヒントが得られるよう工夫されている。 工夫の仕方や、道具の使い方を、実際に加工している子供の写真とともに示すことで、具体的なイメージをもつことができるよう工夫されている。
	<p>(6) 作品などを鑑賞する活動は、主体的に自分自身やイメージなどを基に、主観的に行うことができるように工夫されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 造形活動の題材に関連付け、近似するテーマで作成された我が国や諸外国の多様な作品を、児童作品と並べて掲載することで、より身近に、より豊かに生活や文化へ関わるができるよう工夫されている。 鑑賞活動における「相互の認め合い」や「見る視点」「考える視点」を明確に示すことで、自分なりの思いや考えをもつことができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「造形遊びをする活動」と「絵や立体に表す活動」を「鑑賞する活動」と組合せた形で全題材を提示するとともに、「題材」と「教科書美術館」も連動するように構成することで、表現と鑑賞を往還しながら学びが深まるよう工夫されている。 「自然」「資源」「地域」「伝統文化」を大切にすること、「共生文化」を実現し、「未来を想像」することなどのテーマと、学習指導要領の指導内容をつなぐことで、自分なりの意味や価値を見いだすことができるよう工夫されている。

Ⅲ 具体項目

図画工作

観点		発行者	開隆堂	日 文
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ（ユニバーサルデザイン）等の観点からの表記・表現や体裁の特長	(1) 文章は、分かりやすく、質・量ともに豊かな記述内容となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> 「コロコロ」「ギューツ」等、擬音語を大きく表記したり、題材のタイトルの文字の色や形を工夫したりすることで、題材への興味関心を高め、意欲をもって学習活動に取り組むことができるよう配慮されている。 用具や材料の取扱いと技法について、写真や図を用いて巻末に「学びの資料」として8ページに分かりやすくまとめるとともに、各題材に必要な用具や材料及び技法は、それぞれの題材ページに囲みで示すことで、適宜参照できるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 全学年を通じて、「～かな」「～だね」等、優しく語りかけるような文章で表記することで、題材に親しみを持ち、造形活動への意欲を高めることができるよう配慮されている。 用具や材料の取扱いと技法について、図を多用しながら巻末に「材料と用具の引き出し」として8ページに分かりやすくまとめるとともに、各題材に必要な用具や材料をそれぞれの題材ページに示すことで、適宜参照できるよう工夫されている。 	
	(2) 写真、挿絵、図表などを高め、学習効果に十分に配慮されているか。学習内容との関連	<ul style="list-style-type: none"> 児童の活動写真や作品を両面開きで一面に大きく掲載することで、題材の楽しさがよく伝わり、造形活動に対する意欲が高まるよう配慮されている。 用具の使い方や表し方の工夫点を、挿絵を用いて分かりやすく示すことで、児童が安全に活動できるとともに、新しい表現方法を獲得していくことができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 実際の授業で真剣に題材と向き合い友達と協働しながら活動している写真を掲載することで、児童の好奇心を引き出し、造形活動に対する意欲が高まるよう配慮されている。 挿絵を用いて、作品のつくり方や既習事項が分かりやすく示すことで、学びを振り返りながら見通しをもって造形活動に取り組むことができるよう配慮されている。 	
	(3) レイアウトや色彩、紙質、製本等については、適切に配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 各巻の表紙の上部には、その巻の中で取り上げる様々な材料を使ってタイトルを作成し、大きく示すことで、学習意欲が高まるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> すべての学年及び題材で共通アイコン（マーク）を用いて「学習のめあて」や「表現のヒント」などを示すことで、学習の進め方をとらえやすくすることができるよう配慮されている。 	